文｜土作彰（奈良県北葛城郡広陵町立広陵西小学校）

つっちゃんのミニネタコーナー

ミニネタ No.27 ゴミが1個落ちている時に指導したいこと

朝、教室に来た時、床にゴミが落ちていたとします。普通なら教師が拾ってゴミ箱に捨てれば終わりなのですが、時にはあえて置いておきましょう。

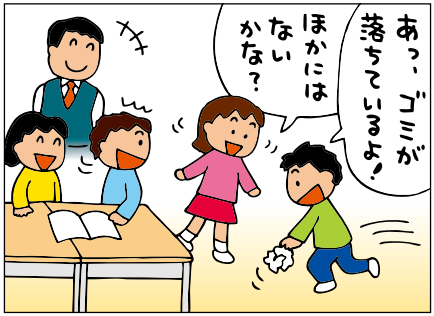
始業前にも依然として落ちていたら、次のように言います。

「教室を見渡して気づいたことはありますか？　そうですね。ゴミが落ちています。これは実は朝から落ちていてずっとそこにあるのです。どういうことかわかりますか？

それは、みなさんが『ゴミが落ちていることに気づく力がない』、あるいは『落ちていても拾おうとする行動力がない』ということなのです。

目で見えるゴミに気づかない人に、悲しい思いをしている友達の心の中がわかるはずがありません。教室にゴミが落ちているということは、このクラスに人の心を気遣う力が欠けていることを示しているのですよ」

しょっちゅう教室にゴミが落ちている学級には「崩壊」の危険性があるといわれます。折に触れて指導したいものです。



イラスト｜吉田朋子